

川原田弘子市政報告会 & 講演会

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1
TEL 078-322-5844 FAX 078-322-6161
(編集・発行) こうべ市民連合議員団



～北前船寄港地として神戸市が日本遺産初認定～
「兵庫津の歴史から神戸の魅力を再発見し、
観光都市神戸につなげよう！」



みなさん、こんにちは。神戸市会議員の川原田弘子です。平成 29 年度に北前船の日本海側の寄港地の市町が、日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」に選ばれていますが、今年5月には、神戸市を含めた瀬戸内海側の自治体が追加認定されました。神戸市としては、初めての「日本遺産」認定となります。

今回は、川原田弘子より、スコットランド出張報告、また、神戸と外国人との貴重なつながりのエピソードなどを含めた市政報告会のあと、神戸の兵庫津について、兵庫津歴史館岡方倶楽部館長の大森健児氏をお招きして、兵庫津にまつわる歴史についての講演会を開催します。神戸と外国人の物語、また、兵庫津の歴史から神戸の魅力を皆さんと一緒に再認識し、神戸の観光に活かしていきたいと思います。

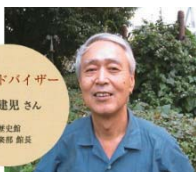
皆様、お気軽にご参加ください。出席ご希望の方は、下記の要領でお申込みをお願いします。

市民アドバイザー

大森健児 さん

兵庫津歴史館

岡方倶楽部 館長



講師 大森 健児

<プロフィール>

1949年2月 神戸市垂水区生まれ。
NHK のドラマ「平清盛」放映時に神戸市が開設した「福原京関連の歴史館」において歴史アドバイザーとして従事、ドラマ終了後、兵庫区南部に設立された「兵庫津歴史館岡方倶楽部」の館長として、神戸市主催の大人旅案内人などを務める。



兵庫津歴史館岡方倶楽部 昭和2年、兵庫商人が社交場として建立しました。

記

1. 日時 平成30年9月29日(土) 10:00～11:30
2. 場所 シーサイドホテル 舞子ビラ 3F「舞子」の間
〒655-0047 神戸市垂水区東舞子町 18-11 tel.078-706-3711(代表)
3. 会費 一人 600円(お茶代として、当日集めます。)
4. プログラム

第一部 川原田弘子 市政報告 10:00～10:45

「スコットランド出張報告・神戸と外国人のつながりなど」

第二部 講演会 「北前船と兵庫津の歴史～」 10:45～11:30

★しめきり 9月21日(金)までにお願ひします。★

*お申し込みは、下記まで、電話、FAX、Eメールでお願ひします。

〒655-0034

神戸市垂水区仲田 3-1-8-202 川原田弘子事務所 TEL&FAX 709-8998

(月・火・水・木・金 10:00～16:00) e-mail happy@hiroko-club.com

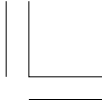
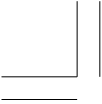
川原田事務所行(078-709-8998)

○市政報告会に参加します。 名

住所 〒

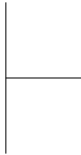
名前

電話番号

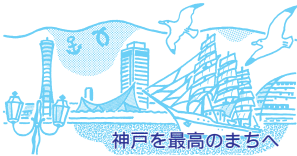


郵便はがき

料金別納郵便
議会改革



神戸市会議員
池田りんたろう



神戸市会議員 子どもの未来と明日の北区のために

池田りんたろう 市会ニュース

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL : 078-322-5844

北神区役所と北神図書館の設置固まる

北神地域の行政サービスを ことになりました。

向上させるため出張所の機能 引き続き、利便性の高い住

強化を長年要望してきました。 みよい北神のまちづくりに取

結果、平成二十九年四月より り組んでまいります。

支所に格上げになり、平成三 窓口サービスが拡充されます

十一年四月からは支所をさら 戸籍届出の休日夜間受付対

に格上げし北神区役所として 応、戸籍届出時の証明発行即

設置すること 時対応、各種保険証再発行等

になりました。 の即時対応、住居表示など。

これにより、

他の区役所と

同様の区民サー

ビスを行う体

制がとられる



北図書館北神分館の機能強化

エコーラ・リラ南館四階

に移転し北神図書館として

機能を拡充。

— 市政のご相談はお気軽に —

池田りんたろう事務所 〒651-1302 神戸市北区藤原台中町1丁目6番

電話 078-982-1177 FAX 078-981-1801

こうべ市民連合議員団 電話 078-322-5844 FAX 078-322-6161

こうべ市民連合議員団 NEWS

市民福祉の向上と共に、豊かさが実感でき、市民が愛着を持ち、誇れる神戸のまちづくりを

編集・発行／こうべ市民連合議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

災害に強いまちづくりに取り組みます

今年の夏は、大阪北部の地震に始まり、豪雨・台風と災害が続きました。代表質疑では、住民生活に直結する災害対策などについて質疑を行いました。今後の豪雨・台風災害に備えて、被害を最小限に抑えるまちづくりに取り組んでまいります。

代 表 質 疑

池田りんたろう 議員 (北区)

洪水浸水想定区域等への対応について

Q 豪雨により道場町を流れる有馬川で堤防の一部欠損により氾濫寸前の状態になった。既に応急復旧工事は完了しているが、本格復旧に向けて今後どのように対応していくのか。



A 有馬川を管理する兵庫県からは「できるだけ早い本復旧を目指しているが、それまでは現場のパトロール等を定期的に行い不具合等が見つければ適宜補修等の対応に努める。」と聞いている。

神戸市においては、ホームページを通じて周知に努めているが、新たな浸水想定を踏まえた「避難の在り方」などについて、検討を進めていきたい。



大池団地の法面对策について

Q 豪雨に見舞われた大池団地では、側溝を超えた雨水により法面が崩れ、神戸電鉄が運休に追い込まれた。早急に対策を取るべきだと思うがどうか。

A 下法面について、神戸電鉄が本復旧に向けて、調査・検討を進めている。上法面については、道路から法面に雨水が越流しないよう早急に恒久対策に取り組む。

千苧浄水場の保全対策について

Q 県による土砂災害特別警戒地域に、千苧浄水場の施設の一部が指定されている。保全対策を早急に講じる必要があると思うがどうか。

A 県の制度である「急傾斜地崩壊防止対策工事」が適用されるよう要望している。また、平成25年度から進めている「北神地区送水施設再整備事業」が完成すれば全域で水源の2系統化が図られる。

川原田弘子 議員 (垂水区)

沿岸部における高潮対策について

Q 沿岸部では高潮の浸水被害が大きかった。高潮のハザードマップが必要では？また、東川崎町・神戸駅周辺で広い範囲の浸水があった。ポンプ・水路などの見直しが必要では？



A 現在、兵庫県において、高潮浸水想定区域の設定を検討中でH31年度に公開される予定。これを受け、県と連携してハザードマップを作成する。東川崎町では、雨水幹線に海水が逆流し、豪雨が重なり浸水被害が発生した。台風21号の状況を踏まえ、雨水ポンプ場や雨水幹線の整備について検討していく。

重症心身障害児・者の避難スペースについて

Q 昨年、しあわせの村に重症心身障害児・者の災害時避難スペースができ見学してきた。人工呼吸器を必要とするなど、必要性を実感した。市内に複数個所の避難スペースが必要では？

A 中央区の市立老人健康センターを改修し、H31年度から新たな重症心身障害児・者の入所施設を整備予定であり、避難スペースの併設を検討していく。

医療産業都市の今後の展開について

Q 医療産業都市は、今年10月に20年を迎え、4月には新しく医療産業都市推進機構が発足した。次の10年、20年、どういう展開を構想していくのか？

A 企業が350社を超え、わが国最大のメディカルクラスターに成長しているが、まだ相乗効果が十分でない。まず、研究推進に取り組みたい。がん免疫や老化など国民的関心が高く、新たな治療法の開発が強く求められる分野において、関係機関が連携し研究開発に取り組みたい。

総括質疑

人見 誠 議員(北区)

●国際スポーツイベントとシティプロモーション 観光振興について

Q 今後3年間、ラグビーワールドカップやワールドマスターズゲームズ等の大規模国際スポーツイベントがあり、神戸の魅力をPRする絶好のチャンス。



この機会を逃さず、歴史や文化に培われたライフスタイルや地域の魅力を発信するイベント等も開催し、神戸の食や文化をPRすべきでは？

A 来年のラグビーワールドカップ開催時に、試合のパブリックビューイングや飲食ゾーン、ステージ、ラグビー体験コーナーで構成される「ファンゾーン」を神戸開催試合や日本代表戦の6日間に設置する。「ファンゾーン」は、「みなとまち・神戸」が実感できるようメリケンパークに設置し、飲食ゾーンでは、神戸ビーフやスイーツ・パンなど神戸を代表する食を提供したい。

また、ラグビーワールドカップと同時期に、兵庫港・新開地・新長田の3地区を舞台に開催する現代アートのイベント「TRANS-KOBE(トランスコウベ)」と連携する。現代アーティストが見慣れた風景を一変させ異次元への空間へと「TRANS-飛び越える」作品を発表する予定で、スタジアムと近接する会場周辺を周遊し、アートという切り口で神戸の奥深い魅力が発見してもらえると期待している。

その他、神戸のまちの魅力を実感できるメニューなどを庁内だけでなく経済界や観光・地域の団体等と連携して準備していきたい。

*明らかになった「ヤミ専従問題」について、早期の全容解明と議会への報告、健全な労使関係の再構築、再発の防止も求めました。

一般質問

岩田よしあき 議員(西区)

1. 水素スマートシティ神戸構想について

Q 神戸市で取組みを進めている「未利用褐炭由来水素大規模海上輸送サプライチェーン構築実証事業」は、オーストラリアから液化水素を海上輸送し日本で荷揚げ・供給を行うシステムの構築を目指す、世界でも例のない先駆的なプロジェクトである。



本年初めて、旧港島クリーンセンターにて水素のみを燃焼させ、それにより得た電気と熱をスポーツセンター・市民病院・国際展示場・下水処理場に供給する事に成功したが、これらの成果をもっと目に見える形でアピールしては？

A 実証期間の延長を希望されているので引き続き地元自治体として支えていきたい。構想については国内外に発信しノルウエーのオスロ駐在大使からのメールや東京の商社からも問合せがあったが、ご指摘を受けさらに強化していきたい。

2. 在学中における中小企業との接点について

Q 9月に神戸国際展示場で開催された「国際フロンティア産業メッセ」では、過去最多の512社の団体が出展した。金融機関が取引先の中小企業を紹介するブースがあったり、学生向けのセミナーが開催されるなど、企業と学生を結び付ける場となった。在学中から中小企業の魅力を知ってもらう取組みが更に必要では？

A 本市が行った大学生対象のイベントに参加した企業42社へのアンケートでは、半数から良かったとの回答を得た。アンケートの深堀が必要であり、参加していない企業からもニーズの聞き取りができないか事業の方法について検討する。

決算特別委員会

各会計の決算及び関連議案は、総合的・一元的に一つの委員会で審査することが適切であるとの考えから、3つの分科会を設けて、審査を行っています。

●第1分科会



藤原武光(垂水区)



川原田弘子(垂水区)



岩田よしあき(西区)

●第2分科会

副委員長



人見 誠(北区)



池田りんたろう(北区)



大井としひろ(須磨区)

●第3分科会

理事



永江一之(灘区)



川内清尚(垂水区)



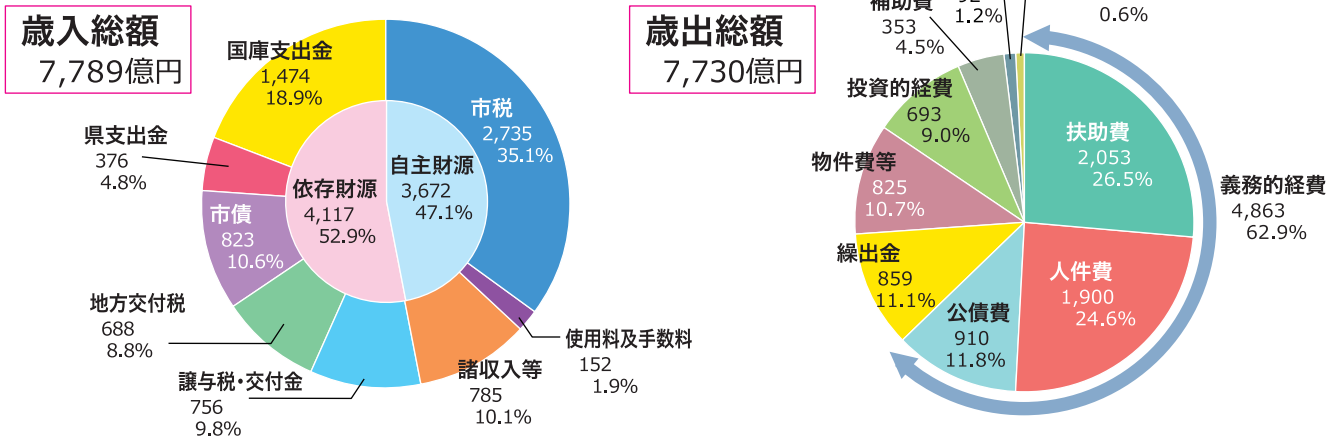
監査

平木ひろみ(中央区)

— 第2回定例市会 9月議会報告 —

平成29年度一般会計決算は、所得の増加に伴う個人市民税の増加や行財政改革に取り組んだことから実質収支の黒字を確保できました。しかし、会期前に発生したヤミ専従問題を受け、市長から「第三者委員会の調査から、H29年度決算に関する中間報告を受け、今会期中（12月5日まで）に過払い給与の額に関して提出する。」旨の意思表示があり、認否の結論は11月議会まで見送られることになりました。

■一般会計歳入歳出決算（平成29年度）（単位：億円）



神戸医療産業都市推進機構の本庶佑理事長 2018年ノーベル生理学・医学賞の受賞決定!!

神戸医療産業都市推進機構は、前身の先端医療振興財団より更なる発展を目指して再編成され、今年4月に発足した組織です。本庶理事長には2015年に先端医療振興財団の理事長としてご就任いただき、以来、3年にわたって神戸医療産業都市をけん引していただいています。機構内の先端医療研究センターには、本庶先生のご専門の免疫チェックポイントなどの研究を行う免疫機構研究部をはじめ、老化機構研究部、神経変性疾患研究部、脳循環代謝研究部などが創設され、研究開発に力を入れられており、神戸市民として、本庶理事長のご受賞にお祝いを申し上げますとともに、今後の研究成果に期待をしたいと思います。



三宮南地区で連節バスの社会実験を実施

三宮からウォーターフロント間のアクセス性向上・本格運行の可能性検討のため、H30年10月、9日間に渡って、エリアを周遊する連節バス運行の社会実験が実施されました。バスには、公募で選ばれたポートタワーがデザインされています。今後のアクセス向上が期待されます。



認知症の人にやさしいまちづくり条例について

今年4月1日、認知症の人にやさしいまちづくり条例が施行されました。認知症は、加齢によって多くの人がなり得る病気です。

神戸市では、この条例を具現化するため、認知症の早期受診を推進するための診断助成制度や、認知症の方が外出時などで事故に遭われた場合に救済する事故救済制度の創設を内容とする神戸発のモデルが提案され、市民意見の募集が行われました。今後、市民意見を反映した上で、11月議会に条例改正案として提案される予定です。





神戸市会議員
ながえ かずゆき

灘区をもっと住みよい街へ。

永江一之



こうべ市民連合議員団NEWS

■編集・発行／こうべ市民連合議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1
TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

相次ぐ自然災害 「対応したまちづくりを進めていく！」

今年の夏は日本中で自然災害が多発しました。大阪北部地震に7月の西日本豪雨災害、次々に上陸した台風、北海道大地震。改めて災害で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに被災されたすべての皆様にお見舞い申し上げます。

神戸市でも特に大雨、台風により様々な被害が発生してしまいました。これまでも神戸は多くの自然災害、阪神大水害や阪神淡路大震災を経験しており、その経験を生かした様々な施策や取り組みを進めてまいりました。

これまでの取り組みの成果もあり、神戸では人命を失うことなく今夏の自然災害を乗り切ることができましたが、改めて多くの課題が見つかったのではないかと感じています。これまでの取り組みでは対応できないような事例も多く見付き、そういった事例事象をしっかりと検証し今後の防災減災の取り組みに生かしていかなければなりません。また、防災減災の課題について市民の皆様と共通認識を持つことが今後の取り組みに欠かせないと考えています。そのような視点に立ってこれからもまちづくりを進めてまいります。



平成29年度 決算特別委員会(第3分科会)にて危機管理室と経済観光局に質問!

危機管理室 9月28日(金)

今回の7月豪雨や、台風20号・21号による一連の豪雨災害を受け、危機管理室がこれまで取り組んできた施策がどのように活かされたか、また、どういった課題が浮き彫りになったか、主に避難情報の発信や防災意識の啓発、要援護者の避難について質疑いたしました。

経済観光局 10月4日(木)

神戸の市内観光の現状と課題について質疑する中で、六甲・摩耶へのアクセス強化やナイトタイムエコノミー、他都市と連携したプロモーションについて当局に質問いたしました。

また、人口減少社会、超高齢化社会を迎えるにあたり、都市のスポンジ化など大きな社会問題となっています。

そこで、市内商店街の活性化支援の現状と課題について、空き店舗対策など質問させていただきました。



こうべ市民連合議員団 灘区支部 永江一之事務所

〒657-0831 神戸市灘区水道筋1-36-6
TEL:078-806-7577 FAX:078-806-7578
E-mail : nagae8565@gmail.com
HP : <http://nagaekazuyuki.com>

第8回 市政報告会 開催!

場所：灘区民ホール1階 会議室
日時：12月9日(日) 午後2時

※お誘いあわせのうえお気軽にご参加ください。

こうべ市民連合議員団 NEWS

市民福祉の向上と共に、豊かさが実感でき、市民が愛着を持ち、誇れる神戸のまちづくりを

編集・発行／こうべ市民連合議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

災害に強いまちづくりに取り組みます

今年の夏は、大阪北部の地震に始まり、豪雨・台風と災害が続きました。代表質疑では、住民生活に直結する災害対策などについて質疑を行いました。今後の豪雨・台風災害に備えて、被害を最小限に抑えるまちづくりに取り組んでまいります。

代 表 質 疑

池田りんたろう 議員 (北区)

洪水浸水想定区域等への対応について

Q 豪雨により道場町を流れる有馬川で堤防の一部欠損により氾濫寸前の状態になった。既に応急復旧工事は完了しているが、本格復旧に向けて今後どのように対応していくのか。



A 有馬川を管理する兵庫県からは「できるだけ早い本復旧を目指しているが、それまでは現場のパトロール等を定期的に行い不具合等が見つければ適宜補修等の対応に努める。」と聞いている。

神戸市においては、ホームページを通じて周知に努めているが、新たな浸水想定を踏まえた「避難の在り方」などについて、検討を進めていきたい。



大池団地の法面对策について

Q 豪雨に見舞われた大池団地では、側溝を超えた雨水により法面が崩れ、神戸電鉄が運休に追い込まれた。早急に対策を取るべきだと思うがどうか。

A 下法面について、神戸電鉄が本復旧に向けて、調査・検討を進めている。上法面については、道路から法面に雨水が越流しないよう早急に恒久対策に取り組む。

千苧浄水場の保全対策について

Q 県による土砂災害特別警戒地域に、千苧浄水場の施設の一部が指定されている。保全対策を早急に講じる必要があると思うがどうか。

A 県の制度である「急傾斜地崩壊防止対策工事」が適用されるよう要望している。また、平成25年度から進めている「北神地区送水施設再整備事業」が完成すれば全域で水源の2系統化が図られる。

川原田弘子 議員 (垂水区)

沿岸部における高潮対策について

Q 沿岸部では高潮の浸水被害が大きかった。高潮のハザードマップが必要では？また、東川崎町・神戸駅周辺で広い範囲の浸水があった。ポンプ・水路などの見直しが必要では？



A 現在、兵庫県において、高潮浸水想定区域の設定を検討中でH31年度に公開される予定。これを受け、県と連携してハザードマップを作成する。東川崎町では、雨水幹線に海水が逆流し、豪雨が重なり浸水被害が発生した。台風21号の状況を踏まえ、雨水ポンプ場や雨水幹線の整備について検討していく。

重症心身障害児・者の避難スペースについて

Q 昨年、しあわせの村に重症心身障害児・者の災害時避難スペースができ見学してきた。人工呼吸器を必要とするなど、必要性を実感した。市内に複数個所の避難スペースが必要では？

A 中央区の市立老人健康センターを改修し、H31年度から新たな重症心身障害児・者の入所施設を整備予定であり、避難スペースの併設を検討していく。

医療産業都市の今後の展開について

Q 医療産業都市は、今年10月に20年を迎え、4月には新しく医療産業都市推進機構が発足した。次の10年、20年、どういう展開を構想していくのか？

A 企業が350社を超え、わが国最大のメディカルクラスターに成長しているが、まだ相乗効果が十分でない。まず、研究推進に取り組みたい。がん免疫や老化など国民的関心が高く、新たな治療法の開発が強く求められる分野において、関係機関が連携し研究開発に取り組みたい。

総括質疑

人見 誠 議員(北区)

●国際スポーツイベントとシティプロモーション 観光振興について

Q 今後3年間、ラグビーワールドカップやワールドマスターズゲームズ等の大規模国際スポーツイベントがあり、神戸の魅力をPRする絶好のチャンス。



この機会を逃さず、歴史や文化に培われたライフスタイルや地域の魅力を発信するイベント等も開催し、神戸の食や文化をPRすべきでは？

A 来年のラグビーワールドカップ開催時に、試合のパブリックビューイングや飲食ゾーン、ステージ、ラグビー体験コーナーで構成される「ファンゾーン」を神戸開催試合や日本代表戦の6日間に設置する。「ファンゾーン」は、「みなとまち・神戸」が実感できるようメリケンパークに設置し、飲食ゾーンでは、神戸ビーフやスイーツ・パンなど神戸を代表する食を提供したい。

また、ラグビーワールドカップと同時期に、兵庫港・新開地・新長田の3地区を舞台に開催する現代アートのイベント「TRANS-KOBE(トランスコウベ)」と連携する。現代アーティストが見慣れた風景を一変させ異次元への空間へと「TRANS-飛び越える」作品を発表する予定で、スタジアムと近接する会場周辺を周遊し、アートという切り口で神戸の奥深い魅力が発見してもらえると期待している。

その他、神戸のまちの魅力を実感できるメニューなどを庁内だけでなく経済界や観光・地域の団体等と連携して準備していきたい。

*明らかになった「ヤミ専従問題」について、早期の全容解明と議会への報告、健全な労使関係の再構築、再発の防止も求めました。

一般質問

岩田よしあき 議員(西区)

1. 水素スマートシティ神戸構想について

Q 神戸市で取組みを進めている「未利用褐炭由来水素大規模海上輸送サプライチェーン構築実証事業」は、オーストラリアから液化水素を海上輸送し日本で荷揚げ・供給を行うシステムの構築を目指す、世界でも例のない先駆的なプロジェクトである。



本年初めて、旧港島クリーンセンターにて水素のみを燃焼させ、それにより得た電気と熱をスポーツセンター・市民病院・国際展示場・下水処理場に供給する事に成功したが、これらの成果をもっと目に見える形でアピールしては？

A 実証期間の延長を希望されているので引き続き地元自治体として支えていきたい。構想については国内外に発信しノルウエーのオスロ駐在大使からのメールや東京の商社からも問合せがあったが、ご指摘を受けさらに強化していきたい。

2. 在学中における中小企業との接点について

Q 9月に神戸国際展示場で開催された「国際フロンティア産業メッセ」では、過去最多の512社の団体が出展した。金融機関が取引先の中小企業を紹介するブースがあったり、学生向けのセミナーが開催されるなど、企業と学生を結び付ける場となった。在学中から中小企業の魅力を知ってもらう取組みが更に必要では？

A 本市が行った大学生対象のイベントに参加した企業42社へのアンケートでは、半数から良かったとの回答を得た。アンケートの深堀が必要であり、参加していない企業からもニーズの聞き取りができないか事業の方法について検討する。

決算特別委員会

各会計の決算及び関連議案は、総合的・一元的に一つの委員会で審査することが適切であるとの考えから、3つの分科会を設けて、審査を行っています。

●第1分科会



藤原武光(垂水区)



川原田弘子(垂水区)



岩田よしあき(西区)

●第2分科会

副委員長



人見 誠(北区)



池田りんたろう(北区)



大井としひろ(須磨区)

●第3分科会

理事



永江一之(灘区)



川内清尚(垂水区)



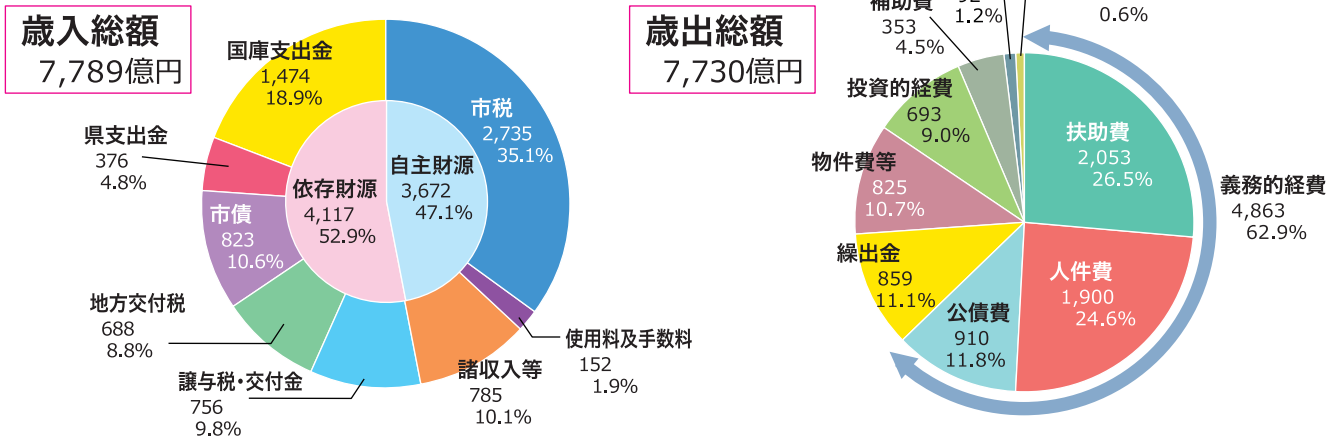
監査

平木ひろみ(中央区)

— 第2回定例市会 9月議会報告 —

平成29年度一般会計決算は、所得の増加に伴う個人市民税の増加や行財政改革に取り組んだことから実質収支の黒字を確保できました。しかし、会期前に発生したヤミ専従問題を受け、市長から「第三者委員会の調査から、H29年度決算に関する中間報告を受け、今会期中（12月5日まで）に過払い給与の額に関して提出する。」旨の意思表示があり、認否の結論は11月議会まで見送られることになりました。

■一般会計歳入歳出決算（平成29年度）（単位：億円）



神戸医療産業都市推進機構の本庶佑理事長 2018年ノーベル生理学・医学賞の受賞決定!!

神戸医療産業都市推進機構は、前身の先端医療振興財団より更なる発展を目指して再編成され、今年4月に発足した組織です。本庶理事長には2015年に先端医療振興財団の理事長としてご就任いただき、以来、3年にわたって神戸医療産業都市をけん引していただいています。機構内の先端医療研究センターには、本庶先生のご専門の免疫チェックポイントなどの研究を行う免疫機構研究部をはじめ、老化機構研究部、神経変性疾患研究部、脳循環代謝研究部などが創設され、研究開発に力を入れられており、神戸市民として、本庶理事長のご受賞にお祝いを申し上げますとともに、今後の研究成果に期待をしたいと思います。



三宮南地区で連節バスの社会実験を実施

三宮からウォーターフロント間のアクセス性向上・本格運行の可能性検討のため、H30年10月、9日間に渡って、エリアを周遊する連節バス運行の社会実験が実施されました。バスには、公募で選ばれたポートタワーがデザインされています。今後のアクセス向上が期待されます。



認知症の人にやさしいまちづくり条例について

今年4月1日、認知症の人にやさしいまちづくり条例が施行されました。認知症は、加齢によって多くの人がなり得る病気です。

神戸市では、この条例を具現化するため、認知症の早期受診を推進するための診断助成制度や、認知症の方が外出時などで事故に遭われた場合に救済する事故救済制度の創設を内容とする神戸発のモデルが提案され、市民意見の募集が行われました。今後、市民意見を反映した上で、11月議会に条例改正案として提案される予定です。



秋号
市会報告

神戸市会議員

岩田よしあき



事務所 / 〒651-2124 神戸市西区伊川谷町1550-1-102

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

第2回 定例市会報告 (期間：9月18日～10月26日)

平成29年度決算の概要

繰越し財源を除く実質収支は16億7800万円となり、財源不足対策をとらずに黒字を確保できた。しかし扶助費は増加し、初めて2千億円を突破した。

企業会計では自動車事業会計(市バス事業)が低迷しており、昨年は1億3500万円の単年度赤字となった。職員給料の引下げや対策を練っているが、少子高齢化により今後も厳しい運営に迫られることが予測される。(資金不足比率16.8%)

〈決算特別委員会局別審査での質疑〉

【市民参画推進局】

1. 新開地・喜楽館について

Q 「喜楽館」オープンを契機に、新開地の賑わいを取り戻す施策が必要では？

A 「天満繁昌亭」では上演できない浪曲や講談といった伝統演芸公演を若手が行う場合に助成をするなど、大阪と差別化を図っている。今後はおとな旅・着地型ツアーなど施策を検討する。

2. 国際スポーツイベントの情報発信について

Q 2019年のラグビーワールドカップを皮切りに、3年連続で国際的なスポーツイベントが開催される。市民に関心を持ってもらえるよう、どのように取り組んでいるか？

A 理解頂いた商店街にはバナーの掲出やポスターの掲示、ホームページやSNSでの情報発信や啓発グッズ作成等を行っている。ポートタワーではホストシティー旗を掲げ、プロモーション活動をしている。

ラグビーワールドカップ2019試合日程

(会場：神戸市御崎公園球技場)

9月26日	イングランド vs アメリカ
9月30日	スコットランド vs サモア
10月3日	アイルランド vs ロシア
10月8日	南アフリカ vs 敗者復活予選優勝チーム

【教育委員会】

1. 西図書館の有り方について

Q 図書館のリニューアルについて「整備検討会」が開催されたが、蔵書数やIT化の規模をはじめ、個人ブース・飲食可能席・LAN端末などの設置計画は？



A 有識者等による「仮称：新西図書館整備検討会」を3回開催した。

希望は床面積が約3,000㎡と今の4倍程度、蔵書冊数は約30万冊と今の3倍。機能については読書専用席・学習席・無線ラン・授乳室・自動返却機といった希望を市民から意見募集し、今年度中に纏めたい。

2. 不登校対策について

Q 平成29年度は小学校での不登校児童数が前年度より184人増、中学校では317人増となったがその要因は？またフリースクールの活用については？

A 平成29年度調査よりこれまで「その他」に該当した部分が「病気」「不登校」のどちらかに計上するようになり増加傾向になった。フリースクールと教育委員会と連絡会を開催し、より連携を図りたい。

3. 教員の多忙化対策について

Q 教員の業務量は多岐に渡っている。教員免許を持たない「補助スタッフ」の登用を検討しては？

A 「総務・学習指導担当」や「教頭業務補助スタッフ」は最優先で配置してきた。どのような人材配置が多忙化対策に有効か検討したい。



こうべ市民連合議員団 NEWS

市民福祉の向上と共に、豊かさが実感でき、市民が愛着を持ち、誇れる神戸のまちづくりを

編集・発行／こうべ市民連合議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

災害に強いまちづくりに取り組みます

今年の夏は、大阪北部の地震に始まり、豪雨・台風と災害が続きました。代表質疑では、住民生活に直結する災害対策などについて質疑を行いました。今後の豪雨・台風災害に備えて、被害を最小限に抑えるまちづくりに取り組んでまいります。

代 表 質 疑

池田りんたろう 議員 (北区)

洪水浸水想定区域等への対応について

Q 豪雨により道場町を流れる有馬川で堤防の一部欠損により氾濫寸前の状態になった。既に応急復旧工事は完了しているが、本格復旧に向けて今後どのように対応していくのか。



A 有馬川を管理する兵庫県からは「できるだけ早い本復旧を目指しているが、それまでは現場のパトロール等を定期的に行い不具合等が見つければ適宜補修等の対応に努める。」と聞いている。

神戸市においては、ホームページを通じて周知に努めているが、新たな浸水想定を踏まえた「避難の在り方」などについて、検討を進めていきたい。



大池団地の法面对策について

Q 豪雨に見舞われた大池団地では、側溝を超えた雨水により法面が崩れ、神戸電鉄が運休に追い込まれた。早急に対策を取るべきだと思うがどうか。

A 下法面について、神戸電鉄が本復旧に向けて、調査・検討を進めている。上法面については、道路から法面に雨水が越流しないよう早急に恒久対策に取り組む。

千苧浄水場の保全対策について

Q 県による土砂災害特別警戒地域に、千苧浄水場の施設の一部が指定されている。保全対策を早急に講じる必要があると思うがどうか。

A 県の制度である「急傾斜地崩壊防止対策工事」が適用されるよう要望している。また、平成25年度から進めている「北神地区送水施設再整備事業」が完成すれば全域で水源の2系統化が図られる。

川原田弘子 議員 (垂水区)

沿岸部における高潮対策について

Q 沿岸部では高潮の浸水被害が大きかった。高潮のハザードマップが必要では？また、東川崎町・神戸駅周辺で広い範囲の浸水があった。ポンプ・水路などの見直しが必要では？



A 現在、兵庫県において、高潮浸水想定区域の設定を検討中でH31年度に公開される予定。これを受け、県と連携してハザードマップを作成する。東川崎町では、雨水幹線に海水が逆流し、豪雨が重なり浸水被害が発生した。台風21号の状況を踏まえ、雨水ポンプ場や雨水幹線の整備について検討していく。

重症心身障害児・者の避難スペースについて

Q 昨年、しあわせの村に重症心身障害児・者の災害時避難スペースができ見学してきた。人工呼吸器を必要とするなど、必要性を実感した。市内に複数個所の避難スペースが必要では？

A 中央区の市立老人健康センターを改修し、H31年度から新たな重症心身障害児・者の入所施設を整備予定であり、避難スペースの併設を検討していく。

医療産業都市の今後の展開について

Q 医療産業都市は、今年10月に20年を迎え、4月には新しく医療産業都市推進機構が発足した。次の10年、20年、どういう展開を構想していくのか？

A 企業が350社を超え、わが国最大のメディカルクラスターに成長しているが、まだ相乗効果が十分でない。まず、研究推進に取り組みたい。がん免疫や老化など国民的関心が高く、新たな治療法の開発が強く求められる分野において、関係機関が連携し研究開発に取り組みたい。

総括質疑

人見 誠 議員(北区)

●国際スポーツイベントとシティプロモーション 観光振興について

Q 今後3年間、ラグビーワールドカップやワールドマスターズゲームズ等の大規模国際スポーツイベントがあり、神戸の魅力をPRする絶好のチャンス。



この機会を逃さず、歴史や文化に培われたライフスタイルや地域の魅力を発信するイベント等も開催し、神戸の食や文化をPRすべきでは？

A 来年のラグビーワールドカップ開催時に、試合のパブリックビューイングや飲食ゾーン、ステージ、ラグビー体験コーナーで構成される「ファンゾーン」を神戸開催試合や日本代表戦の6日間に設置する。「ファンゾーン」は、「みなとまち・神戸」が実感できるようメリケンパークに設置し、飲食ゾーンでは、神戸ビーフやスイーツ・パンなど神戸を代表する食を提供したい。

また、ラグビーワールドカップと同時期に、兵庫港・新開地・新長田の3地区を舞台に開催する現代アートのイベント「TRANS-KOBE(トランスコウベ)」と連携する。現代アーティストが見慣れた風景を一変させ異次元への空間へと「TRANS-飛び越える」作品を発表する予定で、スタジアムと近接する会場周辺を周遊し、アートという切り口で神戸の奥深い魅力が発見してもらえると期待している。

その他、神戸のまちの魅力を実感できるメニューなどを庁内だけでなく経済界や観光・地域の団体等と連携して準備していきたい。

*明らかになった「ヤミ専従問題」について、早期の全容解明と議会への報告、健全な労使関係の再構築、再発の防止も求めました。

一般質問

岩田よしあき 議員(西区)

1. 水素スマートシティ神戸構想について

Q 神戸市で取組みを進めている「未利用褐炭由来水素大規模海上輸送サプライチェーン構築実証事業」は、オーストラリアから液化水素を海上輸送し日本で荷揚げ・供給を行うシステムの構築を目指す、世界でも例のない先駆的なプロジェクトである。



本年初めて、旧港島クリーンセンターにて水素のみを燃焼させ、それにより得た電気と熱をスポーツセンター・市民病院・国際展示場・下水処理場に供給する事に成功したが、これらの成果をもっと目に見える形でアピールしては？

A 実証期間の延長を希望されているので引き続き地元自治体として支えていきたい。構想については国内外に発信しノルウエーのオスロ駐在大使からのメールや東京の商社からも問合せがあったが、ご指摘を受けさらに強化していきたい。

2. 在学中における中小企業との接点について

Q 9月に神戸国際展示場で開催された「国際フロンティア産業メッセ」では、過去最多の512社の団体が出展した。金融機関が取引先の中小企業を紹介するブースがあったり、学生向けのセミナーが開催されるなど、企業と学生を結び付ける場となった。在学中から中小企業の魅力を知ってもらう取組みが更に必要では？

A 本市が行った大学生対象のイベントに参加した企業42社へのアンケートでは、半数から良かったとの回答を得た。アンケートの深堀が必要であり、参加していない企業からもニーズの聞き取りができないか事業の方法について検討する。

決算特別委員会

各会計の決算及び関連議案は、総合的・一元的に一つの委員会で審査することが適切であるとの考えから、3つの分科会を設けて、審査を行っています。

●第1分科会



藤原武光(垂水区)



川原田弘子(垂水区)



岩田よしあき(西区)

●第2分科会

副委員長



人見 誠(北区)



池田りんたろう(北区)



大井としひろ(須磨区)

●第3分科会

理事



永江一之(灘区)



川内清尚(垂水区)



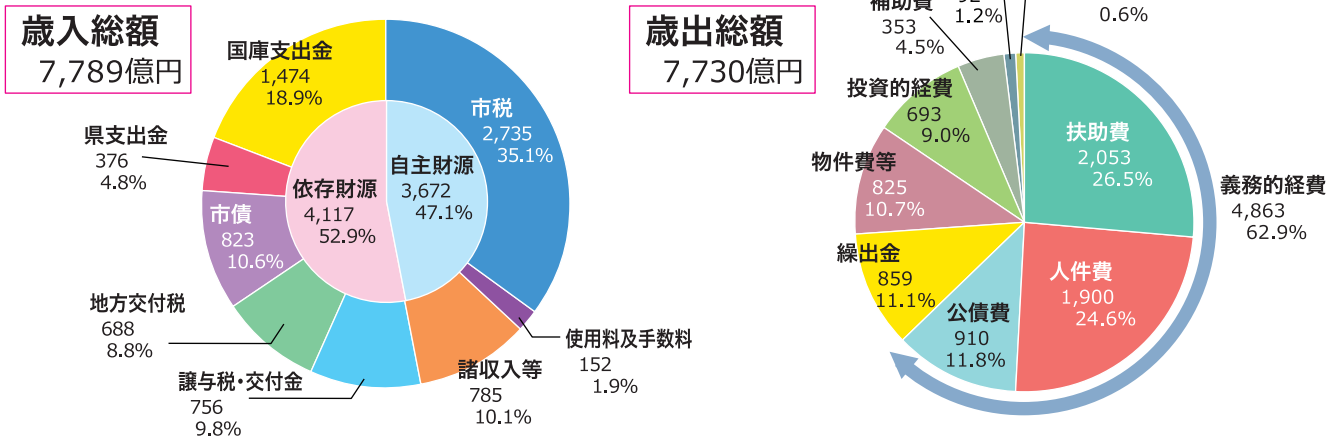
監査

平木ひろみ(中央区)

— 第2回定例市会 9月議会報告 —

平成29年度一般会計決算は、所得の増加に伴う個人市民税の増加や行財政改革に取り組んだことから実質収支の黒字を確保できました。しかし、会期前に発生したヤミ専従問題を受け、市長から「第三者委員会の調査から、H29年度決算に関する中間報告を受け、今会期中（12月5日まで）に過払い給与の額に関して提出する。」旨の意思表示があり、認否の結論は11月議会まで見送られることになりました。

■一般会計歳入歳出決算（平成29年度）（単位：億円）



神戸医療産業都市推進機構の本庶佑理事長 2018年ノーベル生理学・医学賞の受賞決定!!

神戸医療産業都市推進機構は、前身の先端医療振興財団より更なる発展を目指して再編成され、今年4月に発足した組織です。本庶理事長には2015年に先端医療振興財団の理事長としてご就任いただき、以来、3年にわたって神戸医療産業都市をけん引していただいています。機構内の先端医療研究センターには、本庶先生のご専門の免疫チェックポイントなどの研究を行う免疫機構研究部をはじめ、老化機構研究部、神経変性疾患研究部、脳循環代謝研究部などが創設され、研究開発に力を入れられており、神戸市民として、本庶理事長のご受賞にお祝いを申し上げますとともに、今後の研究成果に期待をしたいと思います。



三宮南地区で連節バスの社会実験を実施

三宮からウォーターフロント間のアクセス性向上・本格運行の可能性検討のため、H30年10月、9日間に渡って、エリアを周遊する連節バス運行の社会実験が実施されました。バスには、公募で選ばれたポートタワーがデザインされています。今後のアクセス向上が期待されます。



認知症の人にやさしいまちづくり条例について

今年4月1日、認知症の人にやさしいまちづくり条例が施行されました。認知症は、加齢によって多くの人がなり得る病気です。

神戸市では、この条例を具現化するため、認知症の早期受診を推進するための診断助成制度や、認知症の方が外出時などで事故に遭われた場合に救済する事故救済制度の創設を内容とする神戸発のモデルが提案され、市民意見の募集が行われました。今後、市民意見を反映した上で、11月議会に条例改正案として提案される予定です。



神戸市議員

人見 誠

ひとみまこと

ひとみ輝く夢と希望の街に!

市会ニュース 第30号

北区



編集・発行：こうべ市民連合議員団 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL：078-322-5844 FAX：078-322-6161

決算特別委員会



(環境局)

Q 災害時における自立電源の確保という観点から、**公共施設への再生可能エネルギー導入**をさらに進めていくべきでは？

A これまでに、東部市場、小中学校、配水場などに太陽光発電設備や蓄電池の整備を行った。太陽光発電設備は現在、半数近くの学校に整備されている。引き続き、各局と積極的に連携していく。

Q 生物多様性の保全のための第一歩でわかりやすい身近な取組みとして、**地産地消、動物園や植物園への訪問、エコマーク商品の購入**などがあるが、これらを市民に広く周知し行動を促してはどうか？

9月18日から10月26日まで9月議会が開かれ、平成29年度決算を中心に議論が行なわれました。

私は決算特別委員会で環境局と保健福祉局への質問を担当しました。各局への主な質疑は以下の通りです。

A それらの取り組みは6月に施行した「生物多様性の保全に関する条例」の趣旨と合致するものであり、各局とも連携して一層取り組んでいきたい。

(保健福祉局)

Q 認知症の方への**免許返納促進**の取り組みや認知症の方の起こす自動車事故への対策も強化していくべきでは？

A 新たに創設する診断助成制度の第1段階の認知機能検診で認知機能の低下が見られると判断された場合、**医療機関より本人に運転免許の返納を勧奨**してもらえよう、依頼していく予定。今後、運転免許の自主返納をした時の対応も検討していきたい。

Q 認知症の方の**窃盗や万引き**の件数を**減らす**ための取り組みも必要では？

A できるだけ**早期に認知症のどの疾患かを確定**し、どのような対応が有効か、本人やご家族が早期にわかるような仕組みを整えるなどの取り組みをしていきたい。



これからも、北神地域の行政サービス充実に取り組んでいきます。

トピックス

平成31年4月に「北神区役所」を設置

北神地域の行政拠点であった北神出張所は、平成29年4月に支所に格上げされ、平成30年4月には保健福祉・窓口部門を中心とした業務拡充・体制強化を行うなど、区民サービス向上のための取り組みが進められてきました。

北神支所は、**平成31年4月**にさらに**区役所に格上げ**され、北神地域を所管する「**北神区役所**」として設置される予定です。これにより、北神区役所でも、**他の区役所と同様のサービスが受けられる**ことになります。

あわせて、北図書館北神分館は商業施設内(エコー・リラ)に移転し、「北神図書館」として機能を拡充されます。

【北神区役所への格上げのポイント】

○**取り扱い業務が拡充され、区民の利便性が向上します!**

※新たに扱われる主な業務

戸籍届出休日夜間受付対応、戸籍届出時の証明発行即時対応、各種保険証再発行等の即時対応、住居表示など

○**区役所スペースが拡充します!**

現在、北神支所が入居する「北神中央ビル」2階・4階に加え、5階の北図書館北神分館跡を活用し、区役所スペースの拡充(約930平米)が行なわれます。

人見 誠 プロフィール

- 昭和49年2月18日生
- 一児の父
- 北五葉小、鈴蘭台中、兵庫高校卒業
- 立命館大学法学部法律学科卒業
- 立命館大学大学院法学研究科修士課程修了
- 社会保険労務士、行政書士
- 現在、福祉環境委員会、大都市行財政制度に関する特別委員会に所属
- ブログ <http://blog.goo.ne.jp/hitomi-makoto>



人見まこと
オフィシャル
WEBサイト

<http://kobe-hitomi.jp>

ご意見・ご要望をお寄せ下さい!

北区鈴蘭台支部 人見 誠 事務所

神戸市北区南五葉1-3-27 1F

TEL 078-595-5195

FAX 078-595-5197

E-mail kobe.hitomi@gmail.com

こうべ市民連合議員団 NEWS

市民福祉の向上と共に、豊かさが実感でき、市民が愛着を持ち、誇れる神戸のまちづくりを

編集・発行／こうべ市民連合議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

災害に強いまちづくりに取り組みます

今年の夏は、大阪北部の地震に始まり、豪雨・台風と災害が続きました。代表質疑では、住民生活に直結する災害対策などについて質疑を行いました。今後の豪雨・台風災害に備えて、被害を最小限に抑えるまちづくりに取り組んでまいります。

代 表 質 疑

池田りんたろう 議員 (北区)

洪水浸水想定区域等への対応について

Q 豪雨により道場町を流れる有馬川で堤防の一部欠損により氾濫寸前の状態になった。既に応急復旧工事は完了しているが、本格復旧に向けて今後どのように対応していくのか。



A 有馬川を管理する兵庫県からは「できるだけ早い本復旧を目指しているが、それまでは現場のパトロール等を定期的に行い不具合等が見つかれば適宜補修等の対応に努める。」と聞いている。

神戸市においては、ホームページを通じて周知に努めているが、新たな浸水想定を踏まえた「避難の在り方」などについて、検討を進めていきたい。



大池団地の法面对策について

Q 豪雨に見舞われた大池団地では、側溝を超えた雨水により法面が崩れ、神戸電鉄が運休に追い込まれた。早急に対策を取るべきだと思うがどうか。

A 下法面について、神戸電鉄が本復旧に向けて、調査・検討を進めている。上法面については、道路から法面に雨水が越流しないよう早急に恒久対策に取り組む。

千苺浄水場の保全対策について

Q 県による土砂災害特別警戒地域に、千苺浄水場の施設の一部が指定されている。保全対策を早急に講じる必要があると思うがどうか。

A 県の制度である「急傾斜地崩壊防止対策工事」が適用されるよう要望している。また、平成25年度から進めている「北神地区送水施設再整備事業」が完成すれば全域で水源の2系統化が図られる。

川原田弘子 議員 (垂水区)

沿岸部における高潮対策について

Q 沿岸部では高潮の浸水被害が大きかった。高潮のハザードマップが必要では？また、東川崎町・神戸駅周辺で広い範囲の浸水があった。ポンプ・水路などの見直しが必要では？



A 現在、兵庫県において、高潮浸水想定区域の設定を検討中でH31年度に公開される予定。これを受け、県と連携してハザードマップを作成する。東川崎町では、雨水幹線に海水が逆流し、豪雨が重なり浸水被害が発生した。台風21号の状況を踏まえ、雨水ポンプ場や雨水幹線の整備について検討していく。

重症心身障害児・者の避難スペースについて

Q 昨年、しあわせの村に重症心身障害児・者の災害時避難スペースができ見学してきた。人工呼吸器を必要とするなど、必要性を実感した。市内に複数個所の避難スペースが必要では？

A 中央区の市立老人健康センターを改修し、H31年度から新たな重症心身障害児・者の入所施設を整備予定であり、避難スペースの併設を検討していく。

医療産業都市の今後の展開について

Q 医療産業都市は、今年10月に20年を迎え、4月には新しく医療産業都市推進機構が発足した。次の10年、20年、どういう展開を構想していくのか？

A 企業が350社を超え、わが国最大のメディカルクラスターに成長しているが、まだ相乗効果が十分でない。まず、研究推進に取り組みたい。がん免疫や老化など国民的関心が高く、新たな治療法の開発が強く求められる分野において、関係機関が連携し研究開発に取り組みたい。

総括質疑

人見 誠 議員(北区)

●国際スポーツイベントとシティプロモーション 観光振興について

Q 今後3年間、ラグビーワールドカップやワールドマスターズゲームズ等の大規模国際スポーツイベントがあり、神戸の魅力をPRする絶好のチャンス。



この機会を逃さず、歴史や文化に培われたライフスタイルや地域の魅力を発信するイベント等も開催し、神戸の食や文化をPRすべきでは？

A 来年のラグビーワールドカップ開催時に、試合のパブリックビューイングや飲食ゾーン、ステージ、ラグビー体験コーナーで構成される「ファンゾーン」を神戸開催試合や日本代表戦の6日間に設置する。「ファンゾーン」は、「みなとまち・神戸」が実感できるようメリケンパークに設置し、飲食ゾーンでは、神戸ビーフやスイーツ・パンなど神戸を代表する食を提供したい。

また、ラグビーワールドカップと同時期に、兵庫港・新開地・新長田の3地区を舞台に開催する現代アートのイベント「TRANS-KOBE(トランスコウベ)」と連携する。現代アーティストが見慣れた風景を一変させ異次元への空間へと「TRANS-飛び越える」作品を発表する予定で、スタジアムと近接する会場周辺を周遊し、アートという切り口で神戸の奥深い魅力が発見してもらえると期待している。

その他、神戸のまちの魅力を実感できるメニューなどを庁内だけでなく経済界や観光・地域の団体等と連携して準備していきたい。

*明らかになった「ヤミ専従問題」について、早期の全容解明と議会への報告、健全な労使関係の再構築、再発の防止も求めました。

一般質問

岩田よしあき 議員(西区)

1. 水素スマートシティ神戸構想について

Q 神戸市で取組みを進めている「未利用褐炭由来水素大規模海上輸送サプライチェーン構築実証事業」は、オーストラリアから液化水素を海上輸送し日本で荷揚げ・供給を行うシステムの構築を目指す、世界でも例のない先駆的なプロジェクトである。



本年初めて、旧港島クリーンセンターにて水素のみを燃焼させ、それにより得た電気と熱をスポーツセンター・市民病院・国際展示場・下水処理場に供給する事に成功したが、これらの成果をもっと目に見える形でアピールしては？

A 実証期間の延長を希望されているので引き続き地元自治体として支えていきたい。構想については国内外に発信しノルウエーのオスロ駐在大使からのメールや東京の商社からも問合せがあったが、ご指摘を受けさらに強化していきたい。

2. 在学中における中小企業との接点について

Q 9月に神戸国際展示場で開催された「国際フロンティア産業メッセ」では、過去最多の512社の団体が出展した。金融機関が取引先の中小企業を紹介するブースがあったり、学生向けのセミナーが開催されるなど、企業と学生を結び付ける場となった。在学中から中小企業の魅力を知ってもらう取組みが更に必要では？

A 本市が行った大学生対象のイベントに参加した企業42社へのアンケートでは、半数から良かったとの回答を得た。アンケートの深堀が必要であり、参加していない企業からもニーズの聞き取りができないか事業の方法について検討する。

決算特別委員会

各会計の決算及び関連議案は、総合的・一元的に一つの委員会で審査することが適切であるとの考えから、3つの分科会を設けて、審査を行っています。

●第1分科会



藤原武光(垂水区)



川原田弘子(垂水区)



岩田よしあき(西区)

●第2分科会

副委員長



人見 誠(北区)



池田りんたろう(北区)



大井としひろ(須磨区)

●第3分科会

理事



永江一之(灘区)



川内清尚(垂水区)



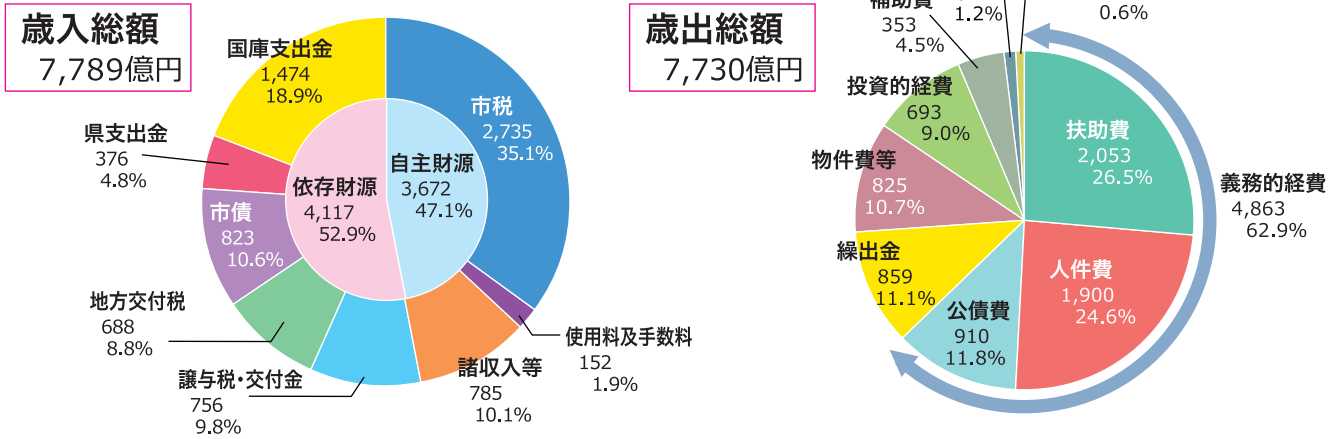
監査

平木ひろみ(中央区)

— 第2回定例市会 9月議会報告 —

平成29年度一般会計決算は、所得の増加に伴う個人市民税の増加や行財政改革に取り組んだことから実質収支の黒字を確保できました。しかし、会期前に発生したヤミ専従問題を受け、市長から「第三者委員会の調査から、H29年度決算に関する中間報告を受け、今会期中（12月5日まで）に過払い給与の額に関して提出する。」旨の意思表示があり、認否の結論は11月議会まで見送られることになりました。

■一般会計歳入歳出決算（平成29年度）（単位：億円）



神戸医療産業都市推進機構の本庶佑理事長 2018年ノーベル生理学・医学賞の受賞決定!!

神戸医療産業都市推進機構は、前身の先端医療振興財団より更なる発展を目指して再編成され、今年4月に発足した組織です。本庶理事長には2015年に先端医療振興財団の理事長としてご就任いただき、以来、3年にわたって神戸医療産業都市をけん引していただいています。機構内の先端医療研究センターには、本庶先生のご専門の免疫チェックポイントなどの研究を行う免疫機構研究部をはじめ、老化機構研究部、神経変性疾患研究部、脳循環代謝研究部などが創設され、研究開発に力を入れられており、神戸市民として、本庶理事長のご受賞にお祝いを申し上げますとともに、今後の研究成果に期待をしたいと思います。



三宮南地区で連節バスの社会実験を実施

三宮からウォーターフロント間のアクセス性向上・本格運行の可能性検討のため、H30年10月、9日間に渡って、エリアを周遊する連節バス運行の社会実験が実施されました。バスには、公募で選ばれたポートタワーがデザインされています。今後のアクセス向上が期待されます。



認知症の人にやさしいまちづくり条例について

今年4月1日、認知症の人にやさしいまちづくり条例が施行されました。認知症は、加齢によって多くの人がなり得る病気です。

神戸市では、この条例を具現化するため、認知症の早期受診を推進するための診断助成制度や、認知症の方が外出時などで事故に遭われた場合に救済する事故救済制度の創設を内容とする神戸発のモデルが提案され、市民意見の募集が行われました。今後、市民意見を反映した上で、11月議会に条例改正案として提案される予定です。



食欲の秋。



川原田弘子NEWS



編集発行 こうべ市民連合議員団：〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

可愛い鳥さんの絵の神戸市の子育て応援サイト「ママフレ」には、子育てに関する情報が満載です。



9月議会が開催され、H29年度決算が審議されました。会派を代表して、久元市長に決算の質疑を行ったほか、決算特別委員会では、第1分科会において、企画調整局、こども家庭局の局別質疑を担当しました。こども家庭局では、妊娠・出産・子育ての「切れ目のない支援」のさらなる充実と、「安心して子育てしやすい環境の整備」に取り組まれています。議会からの要望を受け、DV被害者支援の業務も今年4月から担当局になりました。



こども家庭局に質問しました!!

1 産後ホームヘルプサービスについて



■質問：産後ホームヘルプサービスは、少し利用者が増えましたが、もっと広報して利用しやすくすべきでは？

■答弁：H29年度はのべ1,557回の利用があり、子育てに有用な制度と考える。利用しやすくするため事業者の数を16に増やした。今後も利用拡大に取り組む。



2 産後ケア事業について



■質問：双方の実家が遠い、実家のご両親も働いているなど、支援が得られないケースも多い。ゆっくり養生できるサービスであり、更に利用しやすくできない？

■答弁：他と比べ、特段利用料は高くはないと考えている。今後、利用者が更に増えるよう広報に努めていきたい。

「産後ホームヘルプサービスについて」・・・

体調不良などで家事や育児が困難なご家庭にヘルパーを派遣し、産後間もない時期の子育てを支援する制度です。昼間、サポートを得ることができず、お母さん、またはお父さん等（養育者）と赤ちゃんだけになってしまうご家庭が対象です。

【対象者】 次のすべての要件を満たす方

- ・神戸市内にお住まいの方
- ・出産後1年以内
- ・体調不良などのため、家事や育児が困難で、昼間手伝いをしてくれる人がいない養育者

【利用期間】 出産後1年以内かつ、開始から3か月以内

【自己負担】 1回あたり(連続2時間以内)1,600円

※市県民税が非課税の世帯や、生活保護を受給中の世帯の方は、自己負担はありません。

3 DV被害者支援について



■質問：公立と民間のシェルターがありますが、民間でないといけないケースも多いです。民間への支援に力を入れるべきでは？

■答弁：所管がこども家庭局となり、例えばDVと児童虐待への取り組みが一緒にできるなど前に進んだ。民間には自立まで含めたいきめ細かい支援をしてもらっていると思う。団体の方からも色々とお聞きしているので、これまでより少し所帯が大きい局でもあり、具体の対策、具体案を検討していく段階に入ったと思う。

4 待機児童解消について

■質問：H30年4月の待機児童は332人と増加しています。原因の分析と対策について伺います。

■答弁：H29年度に1,550人の保育枠を予定していたが、526人分しか確保できなかった。特に保育ニーズの高い都心部で地価の上昇により土地や物件の確保ができなかったことが考えられる。保育士不足もひとつの要因。保育士の待遇改善や企業内保育所の設置支援などに取り組んでおり、H30年度は1,600人枠の確保を目指しており、現在1,000人以上の枠の確保はできる見込み。

■再質問：東京では待機児童が減少しており、家賃だけが原因ではないのでは？

■答弁：確かにそうで、大阪でも待機児童がかなり解消している。地理的にも条件に近い大阪を分析したい。未入所児童の数は多いが、待機児童がゼロのケースなどある。企業主導型保育を含め更に検討していきたい。

5 病児病後児保育について



■質問：病児保育併設の垂水区の小児科が閉院するという話がありました。ある小児科の先生から、「病児保育に取り組みたいが、家賃等を考えると、大幅な赤字となる。」という声も聴いています。現在実施の家賃補助を1年間で終わらずに続けられないですか？

■答弁：垂水区の病児保育は閉園の話があったが、今年度末まで継続のご意向で、H31年度以降の事業継続を協議中。一方、新規の施設を垂水駅近くの医療機関と協議中。家賃補助は国に予算要望している。施策を検討し、新規参入の促進と安定した事業運営につなげていきたい。

6 ひとり親の支援(養育費)について



■質問：養育費がきちんと支払われればひとり親家庭の貧困もかなり解消されます。明石市では、養育費確保の新たな事業が始まったと報道されています。養育費の問題に市として取り組めない？

■答弁：無料法律相談の実施と、公正証書の作成時に職員が付き添う工夫もしている。明石市の事業を調べると、養育費保証を担う保証会社と本人が契約の際の初期費用を市が負担するというもの。養育費の取り決めが行われていることが前提。

*要望：そもそも、関係が悪くなって、養育費を諦めて、ひとりで子どもを育てる人も多いです。特にDVのケースでは論外。公正証書の付き添いのように、丁寧にやっていただき、ひとりで問題を抱えている方の支援を要望します。



こうべ市民連合議員団 NEWS

市民福祉の向上と共に、豊かさが実感でき、市民が愛着を持ち、誇れる神戸のまちづくりを

編集・発行／こうべ市民連合議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

災害に強いまちづくりに取り組みます

今年の夏は、大阪北部の地震に始まり、豪雨・台風と災害が続きました。代表質疑では、住民生活に直結する災害対策などについて質疑を行いました。今後の豪雨・台風災害に備えて、被害を最小限に抑えるまちづくりに取り組んでまいります。

代 表 質 疑

池田りんたろう 議員 (北区)

洪水浸水想定区域等への対応について

Q 豪雨により道場町を流れる有馬川で堤防の一部欠損により氾濫寸前の状態になった。既に応急復旧工事は完了しているが、本格復旧に向けて今後どのように対応していくのか。



A 有馬川を管理する兵庫県からは「できるだけ早い本復旧を目指しているが、それまでは現場のパトロール等を定期的に行い不具合等が見つければ適宜補修等の対応に努める。」と聞いている。

神戸市においては、ホームページを通じて周知に努めているが、新たな浸水想定を踏まえた「避難の在り方」などについて、検討を進めていきたい。



大池団地の法面对策について

Q 豪雨に見舞われた大池団地では、側溝を超えた雨水により法面が崩れ、神戸電鉄が運休に追い込まれた。早急に対策を取るべきだと思うがどうか。

A 下法面について、神戸電鉄が本復旧に向けて、調査・検討を進めている。上法面については、道路から法面に雨水が越流しないよう早急に恒久対策に取り組む。

千苺浄水場の保全対策について

Q 県による土砂災害特別警戒地域に、千苺浄水場の施設の一部が指定されている。保全対策を早急に講じる必要があると思うがどうか。

A 県の制度である「急傾斜地崩壊防止対策工事」が適用されるよう要望している。また、平成25年度から進めている「北神地区送水施設再整備事業」が完成すれば全域で水源の2系統化が図られる。

川原田弘子 議員 (垂水区)

沿岸部における高潮対策について

Q 沿岸部では高潮の浸水被害が大きかった。高潮のハザードマップが必要では？また、東川崎町・神戸駅周辺で広い範囲の浸水があった。ポンプ・水路などの見直しが必要では？



A 現在、兵庫県において、高潮浸水想定区域の設定を検討中でH31年度に公開される予定。これを受け、県と連携してハザードマップを作成する。東川崎町では、雨水幹線に海水が逆流し、豪雨が重なり浸水被害が発生した。台風21号の状況を踏まえ、雨水ポンプ場や雨水幹線の整備について検討していく。

重症心身障害児・者の避難スペースについて

Q 昨年、しあわせの村に重症心身障害児・者の災害時避難スペースができ見学してきた。人工呼吸器を必要とするなど、必要性を実感した。市内に複数個所の避難スペースが必要では？

A 中央区の市立老人健康センターを改修し、H31年度から新たな重症心身障害児・者の入所施設を整備予定であり、避難スペースの併設を検討していく。

医療産業都市の今後の展開について

Q 医療産業都市は、今年10月に20年を迎え、4月には新しく医療産業都市推進機構が発足した。次の10年、20年、どういう展開を構想していくのか？

A 企業が350社を超え、わが国最大のメディカルクラスターに成長しているが、まだ相乗効果が十分でない。まず、研究推進に取り組みたい。がん免疫や老化など国民的関心が高く、新たな治療法の開発が強く求められる分野において、関係機関が連携し研究開発に取り組みたい。

総括質疑

人見 誠 議員(北区)

●国際スポーツイベントとシティプロモーション 観光振興について

Q 今後3年間、ラグビーワールドカップやワールドマスターズゲームズ等の大規模国際スポーツイベントがあり、神戸の魅力をPRする絶好のチャンス。



この機会を逃さず、歴史や文化に培われたライフスタイルや地域の魅力を発信するイベント等も開催し、神戸の食や文化をPRすべきでは？

A 来年のラグビーワールドカップ開催時に、試合のパブリックビューイングや飲食ゾーン、ステージ、ラグビー体験コーナーで構成される「ファンゾーン」を神戸開催試合や日本代表戦の6日間に設置する。「ファンゾーン」は、「みなとまち・神戸」が実感できるようメリケンパークに設置し、飲食ゾーンでは、神戸ビーフやスイーツ・パンなど神戸を代表する食を提供したい。

また、ラグビーワールドカップと同時期に、兵庫港・新開地・新長田の3地区を舞台に開催する現代アートのイベント「TRANS-KOBE(トランスコウベ)」と連携する。現代アーティストが見慣れた風景を一変させ異次元への空間へと「TRANS-飛び越える」作品を発表する予定で、スタジアムと近接する会場周辺を周遊し、アートという切り口で神戸の奥深い魅力が発見してもらえると期待している。

その他、神戸のまちの魅力を実感できるメニューなどを庁内だけでなく経済界や観光・地域の団体等と連携して準備していきたい。

*明らかになった「ヤミ専従問題」について、早期の全容解明と議会への報告、健全な労使関係の再構築、再発の防止も求めました。

一般質問

岩田よしあき 議員(西区)

1. 水素スマートシティ神戸構想について

Q 神戸市で取組みを進めている「未利用褐炭由来水素大規模海上輸送サプライチェーン構築実証事業」は、オーストラリアから液化水素を海上輸送し日本で荷揚げ・供給を行うシステムの構築を目指す、世界でも例のない先駆的なプロジェクトである。



本年初めて、旧港島グリーンセンターにて水素のみを燃焼させ、それにより得た電気と熱をスポーツセンター・市民病院・国際展示場・下水処理場に供給する事に成功したが、これらの成果をもっと目に見える形でアピールしては？

A 実証期間の延長を希望されているので引き続き地元自治体として支えていきたい。構想については国内外に発信しノルウエーのオスロ駐在大使からのメールや東京の商社からも問合せがあったが、ご指摘を受けさらに強化していきたい。

2. 在学中における中小企業との接点について

Q 9月に神戸国際展示場で開催された「国際フロンティア産業メッセ」では、過去最多の512社の団体が出展した。金融機関が取引先の中小企業を紹介するブースがあったり、学生向けのセミナーが開催されるなど、企業と学生を結び付ける場となった。在学中から中小企業の魅力を知ってもらう取組みが更に必要では？

A 本市が行った大学生対象のイベントに参加した企業42社へのアンケートでは、半数から良かったとの回答を得た。アンケートの深堀が必要であり、参加していない企業からもニーズの聞き取りができないか事業の方法について検討する。

決算特別委員会

各会計の決算及び関連議案は、総合的・一元的に一つの委員会で審査することが適切であるとの考えから、3つの分科会を設けて、審査を行っています。

●第1分科会



藤原武光(垂水区)



川原田弘子(垂水区)



岩田よしあき(西区)

●第2分科会

副委員長



人見 誠(北区)



池田りんたろう(北区)



大井としひろ(須磨区)

●第3分科会

理事



永江一之(灘区)



川内清尚(垂水区)



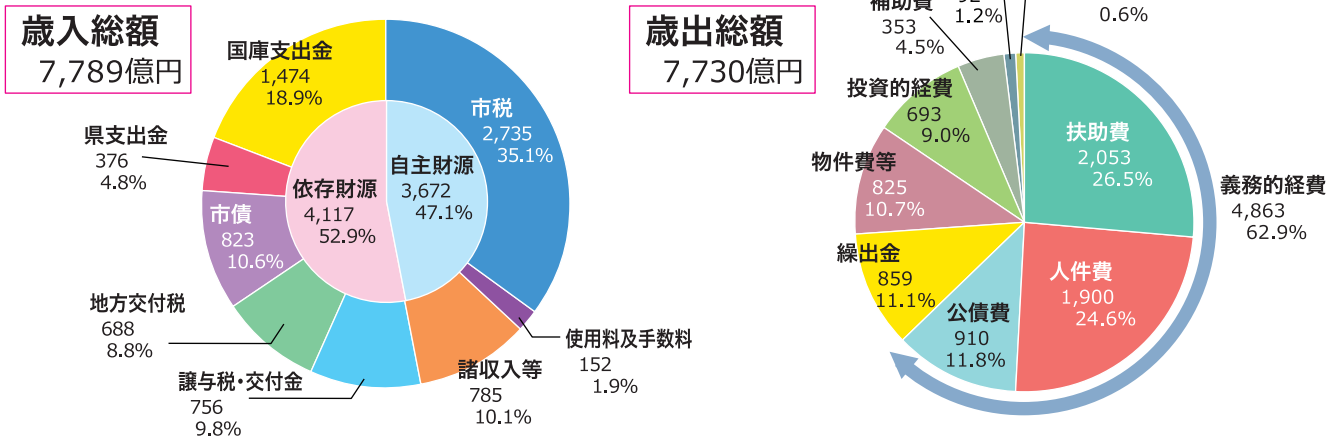
監査

平木ひろみ(中央区)

— 第2回定例市会 9月議会報告 —

平成29年度一般会計決算は、所得の増加に伴う個人市民税の増加や行財政改革に取り組んだことから実質収支の黒字を確保できました。しかし、会期前に発生したヤミ専従問題を受け、市長から「第三者委員会の調査から、H29年度決算に関する中間報告を受け、今会期中（12月5日まで）に過払い給与の額に関して提出する。」旨の意思表示があり、認否の結論は11月議会まで見送られることになりました。

■一般会計歳入歳出決算（平成29年度）（単位：億円）



神戸医療産業都市推進機構の本庶佑理事長 2018年ノーベル生理学・医学賞の受賞決定!!

神戸医療産業都市推進機構は、前身の先端医療振興財団より更なる発展を目指して再編成され、今年4月に発足した組織です。本庶理事長には2015年に先端医療振興財団の理事長としてご就任いただき、以来、3年にわたって神戸医療産業都市をけん引していただいています。機構内の先端医療研究センターには、本庶先生のご専門の免疫チェックポイントなどの研究を行う免疫機構研究部をはじめ、老化機構研究部、神経変性疾患研究部、脳循環代謝研究部などが創設され、研究開発に力を入れられており、神戸市民として、本庶理事長のご受賞にお祝いを申し上げますとともに、今後の研究成果に期待をしたいと思います。



三宮南地区で連節バスの社会実験を実施

三宮からウォーターフロント間のアクセス性向上・本格運行の可能性検討のため、H30年10月、9日間に渡って、エリアを周遊する連節バス運行の社会実験が実施されました。バスには、公募で選ばれたポートタワーがデザインされています。今後のアクセス向上が期待されます。



認知症の人にやさしいまちづくり条例について

今年4月1日、認知症の人にやさしいまちづくり条例が施行されました。認知症は、加齢によって多くの人がなり得る病気です。

神戸市では、この条例を具現化するため、認知症の早期受診を推進するための診断助成制度や、認知症の方が外出時などで事故に遭われた場合に救済する事故救済制度の創設を内容とする神戸発のモデルが提案され、市民意見の募集が行われました。今後、市民意見を反映した上で、11月議会に条例改正案として提案される予定です。





川内 きのよなお

神戸市会議員(垂水区)

市会報告

常に備えを

今年相次いで発生した台風20号、21号で神戸市でも各区で大きな被害が発生しました。被害に遭われた皆様にご心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧を目指して議会の立場で意見反映して参ります。

さて、平成三〇年度第二回定例会の内、昨年度の決算を審議する決算市会が閉会しました。阪神淡路大震災から二三年が経過し、神戸市の財政状況も着実に安定軌道に乗っています。

しかし、いつ発生するかわからない自然災害に向けて、ハード、ソフト両面で準備をしておかなければなりません。決して油断をせず、健全な財政運営に向けて取り組んで参ります。

決算特別委員会では、消防局に対して質問をしました。その一部をご報告させていただきます。ご挨拶とさせていただきます。

時節柄、ご自愛
くださいませ。



決算特別委員会 (消防局)

1. 消防団詰所・器具庫の耐震性能について

質問: 消防団の詰所を年2カ所ずつ、緊急度を勘案して建替えていると聞いている。緊急度のなかには耐震性能も重要な要素となると思われるが、消防団詰所の耐震性能の状況はどうなっているのか伺いたい。

答弁: 神戸市の消防団詰所224箇所のうち、昭和56年以降の新耐震基準で建設された詰所・器具庫150箇所については一定の耐震基準が確保できていると考えている。

一方、問題は昭和56年以前の旧耐震基準で設計された74箇所のうち神戸市耐震改修促進計画に基づいて耐震診断が必要なものは現在19箇所ある。これが、現在の消防団詰所の耐震等の状況である。

2. 消防団詰所の耐震診断について

質問: 特に旧耐震基準で建設された詰所についてはできるだけ早く対応していただきたい。消防団詰所は地域の防災拠点であり、地震によって倒壊してはならない。耐震診断ができていないなら、まずは耐震診断を全ての詰所



で行い、状況を把握することが急務と考えるがいかが。

答弁: 耐震診断の対象となる消防団器具庫は、19箇所あり、そのうち11箇所について耐震診断



を実施した結果、2箇所(須磨第1分団、西・神出支団五百蔵班)の詰所・器具庫については耐震性能が不足しているとの結果が出た。そのうち、一般住宅に隣接している須磨第1分団の詰所については早急に対応したいということで、今年度建替えを実施しており、年内に完成する予定である。そして、西消防団神出支団五百蔵(いおろい)班の消防団器具庫についても、優先的に建替えについて検討してまいりたい。

あと、住宅都市局による耐震診断が行われていない消防団器具庫8箇所についても、耐震診断や新築建替も視野に入れながら住宅都市局と相談し、検討してまいりたい。

要望: 旧耐震基準で建設された消防団詰所への早急な対策について要望する。

消防団詰所は、市民の生命・財産を守るという意味から、倒壊してしまうと本来の意味をなさない。色々な緊急対策も間に合わない。そういったことを鑑みて早急に対策をしていただきたい。



ご相談はお気軽に

川内きよなお事務所

神戸市垂水区大町1丁目2-10 TEL/FAX 078-708-4877
携帯 080-6175-4877 (こちらの方が出やすいです)

こうべ市民連合議員団 NEWS

市民福祉の向上と共に、豊かさが実感でき、市民が愛着を持ち、誇れる神戸のまちづくりを

編集・発行／こうべ市民連合議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

災害に強いまちづくりに取り組みます

今年の夏は、大阪北部の地震に始まり、豪雨・台風と災害が続きました。代表質疑では、住民生活に直結する災害対策などについて質疑を行いました。今後の豪雨・台風災害に備えて、被害を最小限に抑えるまちづくりに取り組んでまいります。

代 表 質 疑

池田りんたろう 議員 (北区)

洪水浸水想定区域等への対応について

Q 豪雨により道場町を流れる有馬川で堤防の一部欠損により氾濫寸前の状態になった。既に応急復旧工事は完了しているが、本格復旧に向けて今後どのように対応していくのか。



A 有馬川を管理する兵庫県からは「できるだけ早い本復旧を目指しているが、それまでは現場のパトロール等を定期的に行い不具合等が見つければ適宜補修等の対応に努める。」と聞いている。

神戸市においては、ホームページを通じて周知に努めているが、新たな浸水想定を踏まえた「避難の在り方」などについて、検討を進めていきたい。



大池団地の法面对策について

Q 豪雨に見舞われた大池団地では、側溝を超えた雨水により法面が崩れ、神戸電鉄が運休に追い込まれた。早急に対策を取るべきだと思うがどうか。

A 下法面について、神戸電鉄が本復旧に向けて、調査・検討を進めている。上法面については、道路から法面に雨水が越流しないよう早急に恒久対策に取り組む。

千苺浄水場の保全対策について

Q 県による土砂災害特別警戒地域に、千苺浄水場の施設の一部が指定されている。保全対策を早急に講じる必要があると思うがどうか。

A 県の制度である「急傾斜地崩壊防止対策工事」が適用されるよう要望している。また、平成25年度から進めている「北神地区送水施設再整備事業」が完成すれば全域で水源の2系統化が図られる。

川原田弘子 議員 (垂水区)

沿岸部における高潮対策について

Q 沿岸部では高潮の浸水被害が大きかった。高潮のハザードマップが必要では？また、東川崎町・神戸駅周辺で広い範囲の浸水があった。ポンプ・水路などの見直しが必要では？



A 現在、兵庫県において、高潮浸水想定区域の設定を検討中でH31年度に公開される予定。これを受け、県と連携してハザードマップを作成する。東川崎町では、雨水幹線に海水が逆流し、豪雨が重なり浸水被害が発生した。台風21号の状況を踏まえ、雨水ポンプ場や雨水幹線の整備について検討していく。

重症心身障害児・者の避難スペースについて

Q 昨年、しあわせの村に重症心身障害児・者の災害時避難スペースができ見学してきた。人工呼吸器を必要とするなど、必要性を実感した。市内に複数個所の避難スペースが必要では？

A 中央区の市立老人健康センターを改修し、H31年度から新たな重症心身障害児・者の入所施設を整備予定であり、避難スペースの併設を検討していく。

医療産業都市の今後の展開について

Q 医療産業都市は、今年10月に20年を迎え、4月には新しく医療産業都市推進機構が発足した。次の10年、20年、どういう展開を構想していくのか？

A 企業が350社を超え、わが国最大のメディカルクラスターに成長しているが、まだ相乗効果が十分でない。まず、研究推進に取り組みたい。がん免疫や老化など国民的関心が高く、新たな治療法の開発が強く求められる分野において、関係機関が連携し研究開発に取り組みたい。

総括質疑

人見 誠 議員(北区)

●国際スポーツイベントとシティプロモーション 観光振興について

Q 今後3年間、ラグビーワールドカップやワールドマスターズゲームズ等の大規模国際スポーツイベントがあり、神戸の魅力をPRする絶好のチャンス。



この機会を逃さず、歴史や文化に培われたライフスタイルや地域の魅力を発信するイベント等も開催し、神戸の食や文化をPRすべきでは？

A 来年のラグビーワールドカップ開催時に、試合のパブリックビューイングや飲食ゾーン、ステージ、ラグビー体験コーナーで構成される「ファンゾーン」を神戸開催試合や日本代表戦の6日間に設置する。「ファンゾーン」は、「みなとまち・神戸」が実感できるようメリケンパークに設置し、飲食ゾーンでは、神戸ビーフやスイーツ・パンなど神戸を代表する食を提供したい。

また、ラグビーワールドカップと同時期に、兵庫港・新開地・新長田の3地区を舞台に開催する現代アートのイベント「TRANS-KOBE(トランスコウベ)」と連携する。現代アーティストが見慣れた風景を一変させ異次元への空間へと「TRANS-飛び越える」作品を発表する予定で、スタジアムと近接する会場周辺を周遊し、アートという切り口で神戸の奥深い魅力が発見してもらえると期待している。

その他、神戸のまちの魅力を実感できるメニューなどを庁内だけでなく経済界や観光・地域の団体等と連携して準備していきたい。

*明らかになった「ヤミ専従問題」について、早期の全容解明と議会への報告、健全な労使関係の再構築、再発の防止も求めました。

一般質問

岩田よしあき 議員(西区)

1. 水素スマートシティ神戸構想について

Q 神戸市で取組みを進めている「未利用褐炭由来水素大規模海上輸送サプライチェーン構築実証事業」は、オーストラリアから液化水素を海上輸送し日本で荷揚げ・供給を行うシステムの構築を目指す、世界でも例のない先駆的なプロジェクトである。



本年初めて、旧港島クリーンセンターにて水素のみを燃焼させ、それにより得た電気と熱をスポーツセンター・市民病院・国際展示場・下水処理場に供給する事に成功したが、これらの成果をもっと目に見える形でアピールしては？

A 実証期間の延長を希望されているので引き続き地元自治体として支えていきたい。構想については国内外に発信しノルウエーのオスロ駐在大使からのメールや東京の商社からも問合せがあったが、ご指摘を受けさらに強化していきたい。

2. 在学中における中小企業との接点について

Q 9月に神戸国際展示場で開催された「国際フロンティア産業メッセ」では、過去最多の512社の団体が出展した。金融機関が取引先の中小企業を紹介するブースがあったり、学生向けのセミナーが開催されるなど、企業と学生を結び付ける場となった。在学中から中小企業の魅力を知ってもらい取組みが更に必要では？

A 本市が行った大学生対象のイベントに参加した企業42社へのアンケートでは、半数から良かったとの回答を得た。アンケートの深堀が必要であり、参加していない企業からもニーズの聞き取りができないか事業の方法について検討する。

決算特別委員会

各会計の決算及び関連議案は、総合的・一元的に一つの委員会で審査することが適切であるとの考えから、3つの分科会を設けて、審査を行っています。

●第1分科会



藤原武光(垂水区)



川原田弘子(垂水区)



岩田よしあき(西区)

●第2分科会

副委員長



人見 誠(北区)



池田りんたろう(北区)



大井としひろ(須磨区)

●第3分科会

理事



永江一之(灘区)



川内清尚(垂水区)



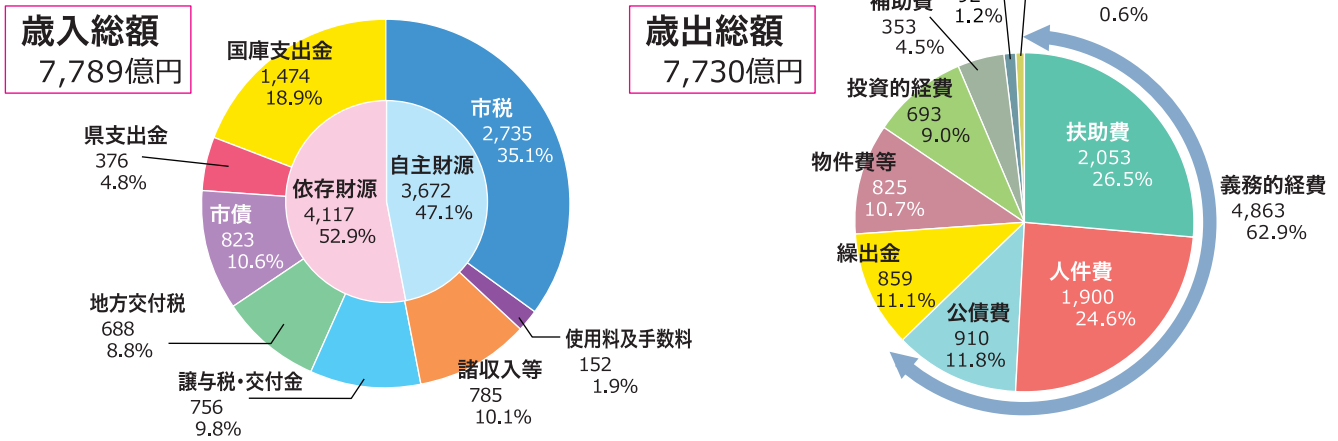
監査

平木ひろみ(中央区)

— 第2回定例市会 9月議会報告 —

平成29年度一般会計決算は、所得の増加に伴う個人市民税の増加や行財政改革に取り組んだことから実質収支の黒字を確保できました。しかし、会期前に発生したヤミ専従問題を受け、市長から「第三者委員会の調査から、H29年度決算に関する中間報告を受け、今会期中（12月5日まで）に過払い給与の額に関して提出する。」旨の意思表示があり、認否の結論は11月議会まで見送られることになりました。

■一般会計歳入歳出決算（平成29年度）（単位：億円）



神戸医療産業都市推進機構の本庶佑理事長 2018年ノーベル生理学・医学賞の受賞決定!!

神戸医療産業都市推進機構は、前身の先端医療振興財団より更なる発展を目指して再編成され、今年4月に発足した組織です。本庶理事長には2015年に先端医療振興財団の理事長としてご就任いただき、以来、3年にわたって神戸医療産業都市をけん引していただいています。機構内の先端医療研究センターには、本庶先生のご専門の免疫チェックポイントなどの研究を行う免疫機構研究部をはじめ、老化機構研究部、神経変性疾患研究部、脳循環代謝研究部などが創設され、研究開発に力を入れられており、神戸市民として、本庶理事長のご受賞にお祝いを申し上げますとともに、今後の研究成果に期待をしたいと思います。



三宮南地区で連節バスの社会実験を実施

三宮からウォーターフロント間のアクセス性向上・本格運行の可能性検討のため、H30年10月、9日間に渡って、エリアを周遊する連節バス運行の社会実験が実施されました。バスには、公募で選ばれたポートタワーがデザインされています。今後のアクセス向上が期待されます。



認知症の人にやさしいまちづくり条例について

今年4月1日、認知症の人にやさしいまちづくり条例が施行されました。認知症は、加齢によって多くの人がなり得る病気です。

神戸市では、この条例を具現化するため、認知症の早期受診を推進するための診断助成制度や、認知症の方が外出時などで事故に遭われた場合に救済する事故救済制度の創設を内容とする神戸発のモデルが提案され、市民意見の募集が行われました。今後、市民意見を反映した上で、11月議会に条例改正案として提案される予定です。





住みよい須磨の街づくりのために全力投球します!!

神戸市会 NEWS VOL. 79 2018. 秋号

投球 全力

公平・公正な社会をめざします

こうべ市民連合議員団
神戸市会議員(須磨区)
企業建設委員会委員長

大井としひろ

■編集・発行：こうべ市民連合議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号 / TEL(078)322-5844 FAX(078)322-6161

須磨区の皆様、いつもお世話になります。今年の夏は、豪雨や台風、猛暑と自然に翻弄され大変な日々が続きましたが、いかがお過ごしでしょうか。

神戸市会は9月18日から12月7日までの会期で、平成30年第2回定例会市会を開会中です。

平成30年度神戸市一般会計補正予算をはじめ平成29年度神戸市一般会計歳入歳出決算について審議を行いました。 「やみ専従問題」で紛糾したため、私たち会派は、決算の認定について認められないとの観点から、12月の会期末までに市当局の報告を受けて、結論を出すこととしました。平成29年度の決算については、決各局別に集中審査が行われ、私は、第二分科会に所属し、交通局関係、建設局関係の2局について、会派を代表して質疑を行いました。交通局関係では、学生の皆さんの通学定期の割引率を拡大する方向で検討するとの答弁を引き出しました。質疑の要旨は以下の通りです。

決算特別委員会「交通局」・通学定期定期の割引率拡大について

Q (大井としひろ) 従前から我が会派では、家計負担の観点から地下鉄通学定期の割引率拡大について提案してきたが、現在どのような検討が行われているのかお伺いする。

A (交通局局長) 現状の通学定期券の区分は、大人という区分しかないが、実際に中学生・高校生といった区分を設け、そこに手厚い割引率を設定している事例が他公営であるので、そういったことも参考にし、予算編成の中で考えていきたい。



決算特別委員会「建設局」・自転車関連施策について

Q (大井としひろ) 名谷駅前駐輪場については7月にリニューアルし有料エリアの集約や約900台分の無料エリアを拡大するなど利便性が向上している。せっかく良くなったこの駐輪場をより多くの方に利用してもらうためには、あわせて自転車走行空間の整備も必要だと思いが見解を伺いたい。

A (建設局局長) 今年度、自転車利用環境総合計画を見直す中で、名谷駅周辺において、さらに自転車走行空間の整備が必要と考えられ路線についても検討を進めていきたい。



■■■ 詳細は、大井としひろ公式ホームページをご覧ください ■■■

検索 大井としひろ

市政についてのご意見・ご要望をお聞かせください。

何事によらずお気軽に
ご相談下さい。

神戸市会議員

大井としひろ

事務所：神戸市須磨区飛松町1丁目4番9号 吉川ビル1階
TEL 078-735-1103
自宅：〒654-0132 神戸市須磨区多井畑南町22-15
TEL・FAX 078-743-6155

■メールアドレス ooi@kobe-001.com
■公式ホームページ http://kobe-001.com
■おーいブログ http://blog.goo.ne.jp/kobeooi

大井としひろの街頭活動

朝の街頭活動を行っています。身近な問題でもなんでも結構です。お気軽にお声掛けください。

午前6時30分～8時30分

●月曜日…地下鉄名谷駅 ●水曜日…地下鉄妙法寺駅
●金曜日…JR須磨駅